

継続的な除雪体制の確保に関する考察

2013年02月19日～2013年02月21日

第56回（平成24年度）北海道開発技術研究発表会

大上 哲也（寒地機械技術チーム）／牧野 正敏（寒地機械技術チーム）／栗田 五輪人（北海道開発局）

除雪は主に建設会社が受注し、発注者と受注者が用意した機械で施工している。しかし、近年の経済状況等から工事の収益が減少したため、建設会社は経営の安定化を目的に、除雪工事の受注や機械の保有に対して慎重になっている。本稿では、継続的な除雪体制の確保を目的に、除雪用機械の保有形態について検討し、保有によるコストメリットが生じ始める中立稼働時間の算出、保有形態の変更によるケーススタディーを行った。

本論文閲覧ご希望の方は、当該学会等にお問い合わせください。